

令和2年度 第2学年 社会科 年間指導計画 予定年間授業時数： 105時間

使用教科書：【歴史分野】 帝国書院『中学生の歴史—日本の歩みと世界の動き』

【地理分野】 帝国書院『中学生の地理—世界のすがたと日本の国土』

使用副教材：東京法令出版『グラフィックワイド歴史』新学社『3年間の総まとめ問題集』

教科の学習目標：

- ① 歴史的事象に対する関心を高め、具体的な歴史的事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
- ② 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の展開と世界の動き 	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域について、自然環境と産業についての関連性に注目しながら地域の特徴、特色をつかみ、多岐にわたる様々な伝統や新たな取り組みについての理解を深める。 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国の海外進出によって日本へさまざまな技術・文化が伝わり、その技術を取り入れた大名によって日本が統一され、江戸幕府の支配が行われる過程を学ぶ。
2	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域 ・世界と比べた日本の地域的特色 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の終焉と明治維新 	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域について、自然環境と産業についての関連性に注目しながら地域の特徴、特色をつかみ、多岐にわたる様々な伝統や新たな取り組みについての理解を深める。 ・日本の地形、気候などの自然環境、人口、産業、資源などを世界の諸地域と比較しながら、その特徴を捉え、日本が向き合う課題について考察する。 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の終焉と明治時代の始まりについて、具体的な事象や政策に注目し、時代の変化を捉える。
3	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界と比べた日本の地域的特色 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代国家の歩みと国際社会 	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形、気候などの自然環境、人口、産業、資源などを世界の諸地域と比較しながら、その特徴を捉え、日本が向き合う課題について考察する。 <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正期、高まるデモクラシーの時代からやがて軍部独裁による第二次世界大戦への突入、日本の敗戦までの過程を学ぶ。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1(25%) 社会的事象への関心・意欲・態度	社会的事象への関心を持ち、自ら探求しようとする姿勢を持つ。 授業へ積極的に取り組み、意欲的に学習活動に参加する。	ノート 授業への取り組み姿勢
観点2(25%) 社会的事象への思考・判断・表現	社会的事象に対する思考を深め、自ら判断し、自らの考えを様々な方法で表現できる。	定期テスト 授業中の取り組み内容 ワークシートの内容
観点3(25%) 資料活用の表現・技能	教科書、資料集、ワークシートの表やグラフを読み取り、適切な内容を選択し活用できる。	定期テスト ノート、ワークシートの表現 授業中の取り組み内容
観点4(25%) 社会的事象への知識・理解	社会的事象に関する基礎的・基本的な知識について理解し、それを活用できる。	定期テスト 小テスト